

(温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策)

省エネルギーの推進

東京工業高等専門学校

本校のエネルギー投入は、電気、都市ガス、A重油、プロパンガスなどです。

エネルギーの消費は、教育研究の推進、教育環境の整備(空調機設置等)、大型研究設備の導入などで増大することが見込まれます。経常的に消費しているエネルギーは教職員及び学生のちょっとした気づかいで、ある程度の省エネを実現できるものと考えます。さらに、老朽した設備の更新や省エネ機器の導入の推進も有効な手段の一つと考えます。

また、学生による省エネに関する活動が始まっており、学生と職員の協働により、学校全体に省エネに関する意識が定着することが望めます。この活動は、学校として側面から支えるとともに、指導、育成していくことが大事であると考えています。

平成17年度の温室効果ガス(CO₂)の排出量

(使用エネルギー量)

電 気	1,666,075 Kw
都 市 ガ ス	82,829 m ³
プロパンガス	156 m ³
A 重 油	98,000 L

(排出温室効果ガス量)



温 室 効 果 ガ ス	1,363,443 kgCO ₂
-------------	-----------------------------

省エネルギーの対策

(1)省エネルギーの推進

- ・冷房・暖房温度の厳守
- ・夏季の一斉休業の実施
- ・休み時間の消灯・空調機の停止
- ・無駄な照明の消灯

(2)老朽設備の更新

(3)暖房方式の検討

- ・空調機設置とボイラー運転の効果比較(CO₂排出量及び経費節減)
- ・ESCO事業活用の検討